

ポイント

安全を第一に考え、品質管理の徹底。鋳物の様々な分野に挑戦し、高度な技術の習得と技能を伝承していく

- 外部コンサルタントによる社員研修の実施だけでなく、社員のワークライフバランス改善に取り組んでいる
- 早期に後継者へと事業承継を実施することで円滑な業務引継を実施
- 積極的に新しい技術を取り入れ、ご当地マンホールだけでなく地域の特色を活かした商品作りを行っている

企業基本情報

所在地	北海道小樽市奥沢 3-30-9
電話/FAX	0134-25-7300/0134-25-7303
URL	http://www.otaru-tanaka.com
代表者	代表取締役社長 田中 惣一郎
設立	1989年
資本金	3,500万円
従業員数	46人



会社概要

1952年の創業以来、下水道マンホール鉄蓋、溶接金網等の公共工事に利用する資材を中心に生産してきた鋳鉄鋳物製造メーカー。道内シェアの6割を占めており、特産品や景勝地など地域色豊かなデザインを施した「ご当地マンホール」等、地域の特色を活かした製品を作ることで顧客より厚い信頼を獲得。社員の教育やワークライフバランス改善にも注力している企業。



工場外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

社員教育、ワークライフバランス改善に取り組んでいる

TPS(トヨタ生産方式)を導入し、工場内システムの無理・無駄を省くことで生産性を向上させている。また、社員教育に当たり、公的機関を利用した外部コンサルタントを招き、社員のTPS習得を推進している。

これら取組に加え、シニアスタッフの積極雇用等、従業員全体のワークライフバランス向上に取り組んでいる。



工場内の自動注湯機

早期に後継者へと事業承継を実施することで円滑な業務引継を実施

後継者を早くから代表取締役社長に就任させることで、経営者としての責任を意識させるだけでなく、新事業や新商品開発等の従来とは違う目線での事業発展を図っている。

前社長は会長として現社長をサポートしており、円滑な事業承継を実現している。また、後進の指導育成等を通じて、社内に止まらず市内のものづくり企業全体を支えている。



社長と会長

積極的に新しい技術を取り入れ、地域の特色を活かした商品作りを行っている

「特産品や景勝地など地域色豊かなデザインを施した「ご当地マンホール」を製造することで、本来味気ないマンホール蓋に地域色豊かな色合いを与えている。

また、積極的に新しい技術を取り入れ新商品を製造し続けることで新規受注を確保している。

新分野進出に伴う工場の増設や生産性向上のための人員も地元を優先させることで、地域経済と雇用活性化に寄与している。



マンホールの写真